

審査委員特別賞

目もりの少ない定規に法則があるか調べてみよう

兵庫県 仁川学院小学校 5年 大西 穂貴

講 評

目盛りをできるだけ少なくして、どんな長さでも測る事ができる定規を作る研究です。まずは、数の組み合わせで別の数を作るという面白さがあります。数をいろいろな見方で柔軟に考えることが大切です。次に、定規なので隣り合わせの数でないと足せないという制約を乗り越える面白さがあります。そして、順番に数を大きくして、それまでの数に加えて新しい数も作れるようにするという面白さもあります。法則までは見つけることができませんでしたが、興味深い探究です。

中央審査委員会